

題材名「友達の作品を評価しよう～シールで伝える鑑賞の喜び」

学校	県立宇陀高校	氏名	梶田 雄一朗	科目	美術 I	学年	I	時間	I
----	--------	----	--------	----	------	----	---	----	---

1 題材の目標

【知識】

・造形の要素の働きを理解する。形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解する。〔共通事項〕

【思考力・判断力・表現力等】

・造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。「B鑑賞」ア(ア)

【学びに向かう力、人間性等】

・主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとする。

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
知 造形の要素の働きを理解している。形や色彩、素材などの性質やそれらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。	鑑 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。	態鑑 主体的に作品や美術文化の鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

3 主な題材の学習内容と評価

学習のねらい、学習活動 ※「●」は、学習のねらい、「・」は、学習活動	評価方法
<p>●授業内容を理解させる（導入15分）</p> <p>・作品の良い点、工夫点を見つけることであることを再確認する。</p> <p>●生徒の作品を鑑賞し、見方や感じ方を深める。（第一次の活動15分）</p> <p>・教室内を自由に移動し、他者の作品の枠外にシールを貼る。15分以内に3枚のシールを使い、シールを貼った理由を作品の裏面に記入する。</p> <p>●生徒の作品を鑑賞し、更に見方や感じ方を深める。（まとめ20分）</p> <p>・特に多くシールを獲得した作品を黒板に貼って、全員で再度鑑賞する。シールの多く集まった作品の理由について考え、意見を発表する。</p>	<p>(知識)</p> <p>・形の要素の働きや全体のイメージや作風などで捉えることを理解しているかを見取り、評価する。</p> <p>【活動の様子】</p> <p>(思考・判断・表現)</p> <p>(主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>・作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深めているかと、作品の良い点、制作者の意図を読み取ろうとし、またそれを具体的に説明しようとしているかなど、鑑賞に取り組む態度を見取る。</p> <p>【発言内容、ワークシート、活動の様子】</p>

生徒の作品とシール評価

「暗い背景、七色の花」というキーワードから、アクリル絵の具、色鉛筆で自由に描画させた作品

